

第17回 JIA 環境建築賞

2050年の低炭素社会実現に向けたパラダイムシフトをめざし、環境に配慮した建築を設計することを今日の建築家は至極当然のこととして認識していると思います。近年、新築と同等に改修建築が扱われるようになり、社会的ストックの再利用にも積極的に取り組むようになってきています。一方、スマホやITの助けを借りずに現代の人々の生活は成立しない世の中になってきており、人々の建築に対する認識も大きく変化していると強く感じています。

建築家は高効率なエネルギー利用を駆使しながら、快適な空間を得るための技術や環境装置を開発してきました。しかし、環境装置の利用に頼り過ぎ、熱環境やエネルギー消費の数値を偏重するあまり、建築がとかく重装備となってきて古来日本建築が有してきた素朴な「自然と共にある生活」という生活意識が失われてきているように感じられてなりません。

今、環境に配慮し、人のための快適な空間とは本来どうあるべきなのかを根本から考え直す時代に突入しています。環境建築を考える上での重要な課題がここにあると考えます。是非この重要な課題をブレイクスルーする建築を募集したいと思います。奮って応募ください。



一般建築部門最優秀賞「沖縄県看護研修センター」設計者：飯田 善彦（株式会社 飯田善彦建築工房）、建築主：公益社団法人 沖縄県看護協会、施工者：株式会社 東江建設（撮影：鈴木研一写真事務所）

登録開始：2016年4月21日 **延期されました**

登録期日：2016年 **7月14日**（木）
~~6月30日~~

提出期日：2016年7月19日（火）

<http://www.jia.or.jp/member/award/environment/>

お問い合わせ／資料送付先



The Japan Institute of Architects
公益社団法人日本建築家協会

JIA 環境建築賞事務局（担当：北沢 / mail : saa@jia.or.jp）
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-3-18 JIA 館 4F
TEL : 03-3408-7125 / FAX : 03-3408-7129

第17回JIA 環境建築賞 募集要項

1. 趣旨

2050年の低炭素社会実現に向けたパラダイムシフトをめざし、環境に配慮した建築を設計することを今日の建築家は至極当然のこととして認識していると思います。近年、新築と同等に改修建築が扱われるようになり、社会的ストックの再利用にも積極的に取り組むようになってきています。一方、スマホやITの助けを借りずに現代の人々の生活は成立しない世の中になってきており、人々の建築に対する認識も大きく変化していると強く感じています。

建築家は高効率なエネルギー利用を駆使しながら、快適な空間を得るための技術や環境装置を開発してきました。しかし、環境装置の利用に頼り過ぎ、熱環境やエネルギー消費の数値を偏重するあまり、建築がとかく重装備となってきて古来日本建築が有してきた素朴な「自然と共にある生活」という生活意識が失われてきているように感じられてなりません。

今、環境に配慮し、人のための快適な空間とは本来どうあるべきなのかを根本から考え直す時代に突入しています。環境建築を考える上での重要な課題がここにあると考えます。是非この重要な課題をブレイクスルーする建築を募集したいと思います。奮って応募ください。

2. 応募作品・応募資格

(1) 趣旨に沿った特質をそなえる建築であることを応募作品の条件とします。JIAが過去に発刊した「サステイナブルデザイン・ガイド」等が参考となります。

(2) 住宅建築、一般建築の二つの部門を設け表彰します。

(3) 応募作品は日本国内に実在し、2015年3月末までに竣工したものとします。改修・再生等の事例を含みます。

(4) 作品の他賞への受賞歴は不問です。

(5) 応募者は、本会正会員または日本の建築士資格あるいは、海外の相当する資格を有する者とします。

<注意事項1：応募者の資格について>

審査委員が直接かかわった作品は、応募できません。また、審査委員と関係の深い方（師弟・協同者、または同一組織等に所属する方）の作品については、当該審査委員は、当該作品の評価・評決・講評・現地審査等に参加しません。

<注意事項2：審査の基準について>

以下の項目が審査の基準となります。受賞後に基準に合わない事が明らかになった場合は賞を取り消す事があります。

- ・ 検査済証を取得していること
- ・ 構造の安全性を満たしていること
- ・ 地域環境を守り、近隣環境と良好な関係を保っていること
- ・ 既に公表されている建築と同一または類似のものでないこと
- ・ 第三者の著作権等の権利を侵害するおそれの無いこと
- ・ 訴訟、トラブルなどの対象となっていないこと
- ・ その他、当要項の条件に違反したもの

3. 審査委員

安田幸一（東京工業大学）：委員長

柿沼整三（ZO設計室）

栗林賢次（栗林賢次建築研究所）

高井啓明（竹中工務店）

柳井 崇（日本設計）

山梨知彦（日建設計）

4. 応募料（住宅建築部門、一般建築部門 共通）

- ・ 3万円（JIA正会員は1万円）
- ・ 応募諸費用は応募者負担となります。

5. 登録方法と期日

(1) 登録開始：2016年4月21日（木）

応募を希望する方は、設計者を応募代表者とし、登録用紙※1に必要事項を記入して下さい。※1：JIAホームページからダウンロード可。

(2) 応募料を現金書留でJIA本部「環境建築賞事務局」にお送りください。この際、登録用紙を同封して下さい。

(3) 登録期日：2016年 ~~6月30日~~（木）【消印有効】

7月14日・・・延期されました

6. 応募図書

(1) A3判クリアファイル縦づかいで20ページ以内に以下のものをレイアウトしたもの。

① 応募作品概要シート（エクセル定形書式 A3判2枚）※2
建築概要、設備概要、設計主旨、力点を置いた環境配慮項目、環境データ等を記入。※2はJIAホームページからダウンロード可。

② 図面（配置図、平面図、立面図、断面図、詳細図、説明図等）

③ 写真

④ 現地案内図

⑤ 検査済証のコピー（確認申請不要物件は、不要理由を明記した文章）

⑥ 任意補足資料（CASBEE、その他追加説明資料）

(2) 上記(1)のPDFデータ。

(3) 上記(1)①応募作品概要シートのExcelデータ。

7. 応募図書の提出期日

2016年7月19日（火）【締切】

8. 賞の種類と表彰件数

最優秀賞：住宅建築部門、一般建築部門、各1点以内

優 秀 賞：住宅建築部門、一般建築部門、若干数

入 賞：住宅建築部門、一般建築部門、若干数

奨 励 賞：住宅建築部門、一般建築部門、若干数

9. 審査方法

① 第一次審査：応募図書に基づく書類審査

② 第二次審査：応募者立会いのもと、現地審査

③ 第三次審査：建築家会館にて公開審査（2016年11～12月）

10. 発表と表彰

(1) 受賞者は公開審査会の中で審査結果を発表します。

(2) 表彰対象者は、設計者、建築主、施工者の三者となります。

(3) 表彰式は2017年4月中旬を予定しています。

11. その他

応募にあたり、以下のことを予めご了解ください。

(1) 応募作品については、応募図書がJIA-KIT建築アーカイブス等にデジタルデータとして保存される予定です。

(2) 応募作品の環境データは、JIAの環境建築研究の基礎データとなります。物件を特定できない表現方法により、グラフや表に記載・公表されることがあります。ただし、物件を特定する公表は、応募代表者の承諾を得たものに限定します。

(3) 賞の広報を目的として、受賞作品の写真等、一部の資料を掲載・展示等に使用することがあります。

(4) 受賞者には、翌年のJIA大会でのデジタル展示を目的として、10枚程度のPowerPointデータの提出を後日依頼致します。

お問い合わせ／資料送付先



The Japan Institute of Architects
公益社団法人日本建築家協会

JIA 環境建築賞事務局（担当：北沢 / mail : saa@jia.or.jp）

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA 館4F

TEL : 03-3408-7125 / FAX : 03-3408-7129